

平成 21 年度取組の中間報告

男女共同参画推進連携会議

副議長 大日向雅美

男女共同参画推進連携会議は、男女共同参画社会づくりに関し、広く各界各層との情報・意見交換その他の必要な連携を図り、国民的な取組を推進することを目的として、有識者議員 17 人、団体からの推薦議員 89 人、計 106 人で構成されている。

今年度は、2 回の全体会議（7 月・12 月）を開催した。

7 月の全体会議では、男女共同参画推進連携会議と 10 府県の地域版男女共同参画推進連携会議（ ）（以下「地域版連携会議」という。）により、「国・地方男女共同参画推進ネットワーク」を立ち上げるとともに、地域版連携会議の代表から、それぞれの地域版連携会議の活動や課題等が説明され、活発な情報・意見交換を行った。

（ ）地域版男女共同参画推進連携会議とは、地方公共団体、関連団体等が参加する都道府県段階の連携組織であり、以下の 10 府県単位の組織がネットワークに参加している。

- ・青森県男女共同参画推進協議会
- ・千葉県男女共同参画推進連携会議
- ・ふくい女性ネット
- ・しずおか男女共同参画推進会議
- ・あいち男女共同参画社会推進・産学官連携フォーラム
- ・京都府男女共同参画推進連携会議
- ・ひょうご男女共同参画推進連携会議
- ・奈良県男女共同参画県民会議
- ・島根県男女共同参画社会形成促進会議
- ・山口県男女共同参画推進連携会議

12 月の全体会議では、8 月の議員改選後初めて開催されたため、冒頭で、議長・副議長を互選した。その後、男女共同参画関連施策に係わる最近の動きについて、内閣府が説明し、続けて、「国・地方連携会議ネットワークによる男女共同参画・子育て支援推進事業」を実施した団体議員が、事業の報告を行った。

仕事と生活の調和に関わる取組としては、既述の男女共同参画・子育て支援推進事業において、内閣府や地域版連携会議との共催で、一般や関係団体の方々を対象に、仕事と生活の調和の推進、女性の参画拡大、子育て支援等に資するシンポジウムやセミナー等を開催している。今年度は、以下の通り、地域版連携会議を含め 12 団体との間でセミナー等を随時開催している。

【開催状況】（ a ）団体 b ）時期 c ）場所 d ）テーマ）

a) NPO 法人 J-Win b) 9 月 c) 東京 d) 「ノルウェー女性エグゼクティブ育成プログラム "Female Future" とその効果」

a) (社) 大学女性協会 b) 10 月 c) 埼玉 d) 「ワーク・ライフ・バランスの実

施」～教育・労働・生活保障（福祉を含む）の分野で～」

a) 秋田大学 b) 10月 c) 秋田 d) 「男女共同参画シンポジウム「ダイバーシティ尊重の風土醸成をめざして」

a) 日本生活協同組合連合会 b) 11月 c) 東京 d) 男女共同参画懇談会（公開学習会）

a) 群馬大学 b) 11月 c) 群馬 d) 家族心理シンポジウム（今年度に複数実施）

a) 愛媛大学 b) 12月 c) 愛媛 d) 「男女共同参画推進セミナー「仕事と生活その調和的バランスを考える」

a) 日本BPW連合会 b) 12月ほか c) 和歌山ほか d) 「落語で聴かせる「ワーク・ライフ・バランス」&シンポジウム「『私らしく生きる』ために」

a) (社)国際女性教育振興会 b) 12月ほか c) 福島ほか d) 「セミナー「カエル！ふくしま ワーク・ライフ・バランス実現のために ～EU圏での外国女性の働き方を参考にして～」ほか

a) 奈良女子大学 b) 1月 c) 奈良 d) シンポジウム「地域力・女性力を活かして男女共同参画推進」

a) (社)日本看護協会 b) 2月 c) 東京 d) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進フォーラム

a) (社)日本助産師会 b) 2月 c) 東京 d) 「パパ・ママの楽しい子育て じいじ・ばあばのイキイキ孫育て」フォーラム

a) しずおか男女共同参画推進会議 b) 2月 c) 静岡 d) 男女共同参画社会づくりのためのシンポジウム～「日本一女性の力が発揮される静岡県」を目指して～